

令和4年度 学習院大学史料館春季特別展

揺籃^{ようらん}期の学習院

— 四谷校地のころ —

3月28日(月) ◆ 6月3日(金)

会場…学習院大学史料館展示室

(学習院大学 北2号館1階)

開室…月～金曜日 12～15時

閉室…土・日曜、祝日

主催…学習院大学史料館

共催…一般社団法人霞会館

協力…学習院アーカイブズ

学習院大学図書館

入場
無料

画像：学習院四谷区尾張町校舎写真 / 明治23年頃〔学習院アーカイブズ蔵〕
『学習院初学教本』二之巻（部分） / 明治27年〔当館蔵〕

学習院大学史料館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL 03-5992-1173
<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/>

揺籃期の学習院

—四谷校地のころ—

幕末の京都に淵源を持ち、明治10年(1877)神田錦町の地に開校した学習院は、校地を虎ノ門、四谷区尾張町へと移転したのち、現在の目白に校舎を構えました。令和4年春、学習院大学史料館では、明治23年から同41年に至る、四谷校地時代の学習院をテーマとした展覧会を開催いたします。

この頃は、学習院の歴史において“揺籃期”ともいえる時期にあたります。第4代院長三浦梧楼は、「学習院学則」を制定するなど教育体制の改革を進めました。華族の地位本分に適した教育を施すため、また軍務に服する志操を養うため、道徳と武課(体育)教育を重視します。天皇の勅語などを集めた『教学聖訓』や、『学習院初学教本』など学習院独自の教科書が編纂され、日本初の「東洋諸国歴史(東洋史)」科目も設けられました。そして第7代院長近衛篤磨は、華族が従事すべき職務として、貴族院議員と武官のほかに外交官をあげ、その人材育成に力を尽くしていきます。

明治30年代には、校友会組織「学習院輔仁会」の活動が盛んになり、『学習院輔仁会雑誌』には、のちに雑誌『白樺』同人として活躍する志賀直哉・武者小路実篤・木下利玄・柳宗悦らの名も随所に見ることができます。

この展覧会では、当時の教科書や、志賀・武者小路らが描いたデッサンなど教育資料のほかに、明宮嘉仁親王(のちの大正天皇)が学習院の初等学科時代に着用していた制服などを紹介いたします。

関連講座：第94回学習院大学史料館講座

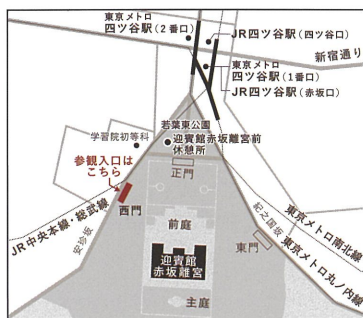
「学習院の東洋学」

講師：中嶋諒氏(明海大学講師／当館客員研究員)

*Web上にて5月中旬より配信予定

迎賓館赤坂離宮前休憩所でのトークイベント

かつての学習院四谷校地の敷地には、現在は迎賓館赤坂離宮前休憩所が開設されています。これにちなみ、4/21(木)・5/26(木)に迎賓館とコラボレーションしたトークイベントを同休憩所で開催予定です。



詳しくは
QRコードにて



①



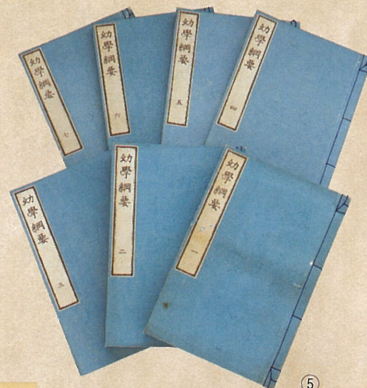
②



③



④



⑤



⑥



⑦

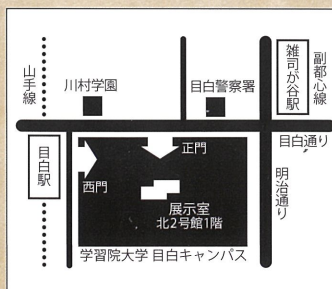


⑧



⑨

①志賀直哉・武者小路実篤・木下利玄ら高等学科卒業前の記念写真/明治39年②華族会館賞牌/明治38年③明宮嘉仁親王(大正天皇)所用制服(夏服)/明治23年頃④『教学聖訓』/明治30年頃⑤『初学綱要』/明治16年⑥武者小路実篤「素描(風景)」/明治31年頃⑦柳宗悦「素描(獅子全身像)」/明治35年頃⑧岡倉秋水筆短冊/明治時代後期⑨『白樺』創刊号/明治43年4月
背景上より：柳宗悦「素描(ダイアナ頭像)」/明治37年頃、志賀直哉「素描(馬全身像)」/明治31年頃、木下利玄「素描(四谷校地の木)」/明治33年頃
①は学習院アーカイブズ蔵、ほかは当館蔵



感染症対策へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。
今後の感染状況により、開催方法・開催日時が急遽変更となる場合がございます。ご来場の前には当館のホームページ、ツイッター(下のQRコード)にて、最新情報と感染症対策をご確認ください。

学習院大学史料館
公式 Twitter
https://twitter.com/g_shiryokan

